

事業所名:まなび ふたば
 公表日:令和3年12月20日

 職員数:9
 回収部数:9 回収率:100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	4	1	●棚を購入し、スペースを空ける工夫をしている。 ●一斉に学習机を使うとスペースが足りなくなるので、時間差を設けている。
	2	職員の配置数は適切であるか	8	0	1	●事業所に常におれる人数が足りないタイミングがある。 ●事業所内に職員が多く残り支援ができるよう、送迎シフトを工夫する必要がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	1	0	●トイレ内に手すりを設置している。 ●トイレ入り口の段差をマットで縮めている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	1	1	●職員全体で参画しているとは言えない。 ●各職員の役割が固定化しており、互いの業務の進行に対する意見交換の場が必要。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	0	0	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	0	0	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	1	1	●コロナ禍があり第三者評価の機会を作れなかった。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	0	0	●他店舗とも連携し、定期的に研修をしている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1	0	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	2	0	●WISC-IVやVineland-II等のツールを希望に応じて実施している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	1	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	1	0	●毎月異なる内容のイベントを用意している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	0	1	●平日は個別療育が中心。休日は毎回イベントを用意し、集団参加を促すプログラム内容になっている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	0	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	1	0	●前日の振り返りをしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	1	1	●休みの職員でも一日の様子がわかるようになっている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	0	0	●小さなことでも全員が把握できるようになっている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0	0	●6か月に1回、モニタリングを実施している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	8	1	0		

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	0	0	●児発管が出席している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	1	1	●不明な点は、送迎時や電話で学校に確認を取っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	2	1	●医療的ケアが必要な利用者はいないが、連携してやっていきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	1	1	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	2	1	●そのような実例がまだ無い。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	3	1	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	5	●感染症流行のため、できていない。 ●コロナ禍が明けたら実施。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	4	4	●コロナ禍のため参加できていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	0	
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	4	2	●対応方法について、個別に相談を受けて支援することはあるが、プログラムという形では行っていない。 ●オンライン形式も視野に入れ、ペアトレの実施を検討する。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	0	0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	0	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	1	5	●感染症流行のため、できていない。 ●個別対応に重点を置いて、きめ細かい支援を行っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1	0	●その日に保護者に伝えて共有している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1	1	●ブログ記事を書いて発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	7	2	0	●鍵付きロッカーを使用し保管している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	1	5	●コロナ禍が明けたら実施。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	1	0	●職員には周知されているが、保護者に対しては周知できていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	0	0	●年2回ずつ、職員・児童それぞれを対象に実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	1	0	●定期的な研修をしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9	0	0	●やむを得ず身体拘束を行う場合について、保護者に説明し同意書を記入して頂いている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1	1	●アレルギー表を作成している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0	0	●月1回の会議の議題に上げている。